

潮流

「プレーパーク」は「冒険遊び場」とも呼ばれ、デンマークをはじめヨーロッパを中心に広がった新しい遊び場で、「自分の責任で自由に遊ぶ」場として、子どもたちの好奇心や欲求を大切に、秘密基地づくりや木登り、穴掘り、泥んこ遊びなどさまざまな遊びの中で、子どもの自由な発想や独自性、自主性を尊重



理事長 長副理事 長
NPO法人未来
鳥取県中部医師会副会長

松田 隆

した遊びを実現できる力は発揮されません。うプレーリーダー(子ども)の遊びを支える大人)の公園などのお仕着せの遊び場と違い、一見無秩序の環境や水・土・木・火等も利用して、五感を使っただ体験ができるようになって、遊びをつくり出すことができます。

しかし、今の子どもたちの中で、常駐のプレー

プレーパーク

ちは、家の中でテレビやゲームやケータイに費やす時間が多く、この五感をを使った体験ができる場がなく、意識的にこのよう

がなければ、天才の実

一九六一年にI P A (国際遊び場協会) が設

(倉吉市)